

東京七座会

平成28年春号 (No.13)

青葉を渡る風も爽やかに感じられることとなりました。
会員の皆様にはお変わりなく、お健やかに暮らしたことと存じます。

平成27年のふるさと会は、第27回東京七座会が6月21日に鶯谷のプレミアムクラブ『ロビンスクラブ』で、21名の出席で開催し今泉・前山への郷愁を覚える一日となりました。また、第28回東京鷹巢会は10月11日に霞が関ビル35階『東海大学校友会館』で、同会場2回目の開催ですが会員127名と来賓35名の参加がありました。なお、当会からは11名の少数出席でしたが、今泉出身の古川壽子さん須藤隆子さん姉妹の初参加もあり、大いな賑わいとなりました。

※会員の動向については、

入会4名・退会4名により121名(他に下記住所不明10名)の会員数となっております。

入会者	退会者	住所不明者			
古川 壽子	板谷越子マ子(都合)	小笠原弘美	葦山 栄子(熊谷)	武田 強	
松岡 茂	戸澤 功 (都合)	佐藤賢四郎	野呂 行雄	簾内 豊勝	
武田 キヨ	仲村 礼治 (死亡)	仲谷 国男	藤田 敏	三浦 キサ(木村)	
戸澤 博	簾内 若子 (帰郷)	成田 寛			《順不同敬称略》

加入された松岡茂さんは米代会からの転属、武田キヨさん戸澤博さんは前山自治会からの紹介です。これからのお付き合い、宜しくお願い致します。また、亡くなられた仲村礼治さんのご冥福をお祈り致します。(合掌)住所不明となられてる方々については皆様からの情報をお寄せ下さるようお願い致します。



↑【第27回東京七座会】

↓【第28回東京鷹巢会】



須藤隆子(妹) 古川壽子(姉)



鷹巢会の七座会テーブル



七座のあれこれ

《牛神社》

薬師山麓に牛神社がある。神社の建立は比較的新しく、今泉の簾内多蔵が七座農協組合長時代に牛の守り神として勧請したものである。昭和32,3年ころ、部落の飼育赤牛約60頭を数えたが、今はどうなっているのだろうか。守ってもらう牛は、いるのだろうか。



今泉・前山には昔からの家が多く、それらの姓について紹介します。前山に戸澤、野呂、藤田、澤田、小笠原、熊谷、… また今泉には成田、簾内、武田、仲村、…とこのような家について、数回に分けてご案内します。

【成田家】今泉の成田家の先祖は、鹿角の成田氏に分かれ、戦国の頃に同郡石野(その前は神田)を出て、岩瀬(田代町)へ移り、さらに蟹沢を経て今泉に定住する。代々、村の肝煎をつとめ家紋は武家の出身らしく、旗が五本骨扇に三日月、衣服は月の字(後に上がり藤または二引画)を用いた。家には伝来の武器類を秘蔵し、刀は綾小路定利、脇差は筑前左文字、槍は末国であった。これらの刀剣類は江戸時代に大館佐竹氏、奈良岡主鈴(米内沢出身の秋田藩士)に譲ってしまったという。

【藤田久右エ門家】常陸国(茨城県)藤田に住む郷士であったが、佐竹侯の秋田入りに遅れること数年後であったため召し抱えられず民間に下った。遍歴の途中、荷物を付けてきた数頭の牛が前山の伊勢堂長根を通過しようとした時、突然立ち止まって動かなくなった。これは、この土地の地主神の導きであろうと思って永住することに決めた。慶長12年(1607年)のことである。(『ヤマシ』の家です)

《後記》今回の『七座のあれこれ』は如何でしょうか。感想をいただくと嬉しいです。また、鷹巢町広報等から鷹巢会の成り立ちや七座の記事を纏めた、東京七座会の冊子(全136ページ製本)を作成しました。昨年の鷹巢会出席者にお渡しし、七座会の新旧役員にも送付しております。今年の七座会出席者にも配布する予定ですが、ご希望の方は、ご一報願います。(熊谷忠憲)